

2021 年度訪問看護ブログ

2021 年 9 月 16 日もひとつおまけ

リモートで新卒 4 年目と 1 年目が参加した、ある大学の就職説明会で当センターが一番人気であったと先生からの嬉しい連絡。なんと半数以上がうちの就職したいとの希望を出していたと。若いパワーには若いパワーで、だね～と盛り上がっています。

2021 年 9 月 16 日おまけ

気むつかしいと思っていたある主治医。

利用者さんのお誕生日にケーキを持参し往診に現れたと聞き、皆大騒ぎ（笑）。

ツンデレは効果的？

2021 年 9 月 16 日（木）

今日もご自宅での看取りをお手伝いした方の振り返り事例検討会（ポジティブ事例検討会）。

新卒 3 年目スタッフが事例提供者でした。

この事例のここがすごい！というところでも、良い意見交換ができてるなあ嬉しかった。

事例提供スタッフの感想もよかった。やっぱりポジティブ事例検討会、いいです。

看取り支援は、本人家族と一緒にするものなのだと思います。

関わることでしんどい事も多かったですが、すごく勉強になりました。

先輩の話を聞く事で、自分の気持ちが整理されていってすっきりしました。ありがとうございました



2021 年 9 月 15 日（水）

今日は全体研修の日。今年はラダーを定期的に行うので、今日はラダーレベルを見るための事例検討。みんな、楽しかった～と戻ってきました。集まって話す機会が減ってるからね。

楽しいのが何より。

2021 年 9 月 13 日（月）

ネットまた動きません。朝の ZOOM 会議できないし、電子カルテ見られないし、情報共有ツールが使えない。

2021 年 9 月 10 日（金）

インターネット環境の改善のために、事務方がいろいろやってくれたけど、何ともならなかったみたい。

午後から、リモートで県ステーション協議会の訪問看護部会だったけど、何とか途切れず行けました。部会は盛りだくさんの検討事項ながら、スムーズな進行に理事さんたちの協力を得ている

んなことが進んだので、よしとしよう。頭の切り替えが疲れる（笑）

2021年9月9日（木）

ポジティブ事例検討会

お一人暮らしでご自宅で最期を迎えた A さんへの看護。振り返って、意見を出しあって、グループでも話し合っ。事例提供したスタッフから、こんなにいろいろみんなが見てくれているんだとわかり、それも良かったとの感想。そう。みんなが気にかけてる。進行している私がうっかりうるうるしそう。

2021年9月8日（水）

利用者さんへの満足度アンケート。

今年はいつもとは違う方法で、利用者さんや家族さん、スタッフも楽になり、集計も効率的にできる方法に変えました。常にもっといい方法はないか、が当センターの柱。

2021年9月6日（月）

ネット環境が不安定です この表示がよく出るようになっている。クラウドを走らせながら仕事してるので、事務員さん含めみんな、事務所で仕事にならない。

2021年9月3日（金）

当ステーションは、兵庫県の指定する教育ステーションの一つ。

圏域の他ステーションとの同行訪問や研修実施のミッションあり。

今回は、同行訪問に関して圏域の医療機関にもお知らせすることにし、管理職が病院に説明に行っています。看護協会の看看連携研修が中止になる中、コロナ禍でも看看連携を進めるのに役立つといいなあ。

2021年9月2日（木）

学生実習の中間カンファレンスに入る。

コロナ禍での実習なので、体調確認は2週間も前から記録してもらい、かなり厳しく見ている。

1日の訪問は1件。でも2週間ある実習で事業所内での動き含め、いろんなところに関心持って、実習してるなと思いました。訪問は楽しい、との感想はいつもながら嬉しいです。

2021年9月1日（水）

サテライトに入職した男性スタッフへのオリエンテーションを実施。

利用者さんの担当も始まり、10月からは緊急当番も。

疑問なこと聞きつつ、大切なことを伝えた。

〇係長からいつも、「最初の頃は言われたことが理解できなかったけど、今になってよくわかる」と言われる。都度の疑問が解決できるだけでもいいかな～

2021年8月30日（月）

周辺で家族のコロナ感染、の話が増えつつある。濃厚接触になれば就業制限になるが、家族間感染が増えている今、あれがなってもおかしくない、と気を引き締めて、標準感染防止対策をとる事、呼びかけました。

2021年8月26日（木）

システム選定のプレゼンを聞く。相手に伝わるように話すのって難しいねんなあと、改めて、人の話を聞いて感じました。日々精進しよ。

2021年8月25日（水）

訪問看護で解決するコロナ

保健所からの訪問依頼。資料見ると、療養期間明日で終了、35℃台低体温で入院希望だが、状態は安定している、家族が祝杯施設に行き1人になり不安。オンライン診療も受け、低体温で入院必要と言われているのに、何故入院出来ないのかと。先ず電話。

相手の不安を慮りつつ、知りたいことを尋ねる。

反応を確認しながら話を進めていくと、相手が安心し始めたなーとわかる。

さらに負担かけていないか、配慮しながら確認を重ねる。保健所や本人からのたくさんの情報からの見通しを立て説明すると、さらに気持ちがほぐれる様子が伝わって来た。

あとは、訪問時の留意点をつたえ、約束時間まで待ってもらうようにおねがいして、電話を置く。

訪問したナースは、本人さんすでに落ち着いてて、あの記録からは想像出来ませんでしたと戻ってきました。

訪問看護の専門性に任せてもらえるところを任せてもらい、私たちがナーシングを發揮することで、解決できる事があると、コロナ禍で経験しています。

2021年8月24日（火）

医療的ケアの支援を始めてもう何年か経ちます。

このたび、ICTを活用して情報共有できるような仕組みについて、お知らせいただきました。

ちょっとずつ前進。違う場所の看護職と効果的につながることで、さらに医療的ケアの支援が進むといいなと思っています。

2021年8月23日（月）

CBニュースの暴力ハラスメント研修に参加。

いつもは講義させてもらうほうの立場なので、他の研修に出て情報収集。

弁護士さんの話は分かりやすくとても参考になりました。

当ステーションでも準備ができてないこともあり、また考えなきゃ。

2021年8月20日（金）

保健所と話し合いをしました。

在宅医療現場での問題意識を共有できたことは前進。

保健所に持ち帰り検討されることになりました。

こうして気づいたことをフィードバックして、次につながられるように動くのも、在宅医療を良く知る訪問看護ステーションの役割の一つだと思います。

2021年8月17日（水）

平成25年度に参加した厚労省のモデル事業「訪問看護ステーションの多機能化モデル事業」の際、一緒にスタッフとして協働した管理栄養士Aさん。こちらはフィールドを提供し、Aさんが研究を続けてこられ、博士号を取得されています。そのAさんに栄養管理の研修をお願いしました。リモートですが、計測の実習やとろみづけの紹介など、すぐ役立つ内容が盛りだくさん。スタッフの反応が良かったのも嬉しい。引き続き「口から食べる」を大事にしていきます。



2021年8月16日（月）

保健所に第5波 在宅療養支援の課題を投げかけていたところ、早速、もう少し詳しく話を聞きたいと返事がありました。次週になります。訪問看護ステーションネットワークの事務局さんにもお声掛けし、一緒に参加していただきます。

2021年8月15日（日）

24時間電話当番の担当者から。「警報が出ていてヘルパーが訪問に行けない。訪問看護師に来てほしいと介護者から連絡があり担当者に連絡。11時から訪問します」と。

警報が出ていて大雨、しかもスタッフ自身の居住地域が警戒レベル3になっている中で訪問はできない。結果は天候が回復してヘルパーが訪問できることになったのですが、災害時の対応について、スタッフへの教育を再検討しないと・・・と思いました。

2021年8月14日（土）

管理者携帯当番の週末。大雨の土曜日。再び保健所からの依頼。待機中の管理者に連絡し対応。同行する医師が往診がながびいているということで、1時間近く雨の中自宅前で待機というアクシデントも。とはいえ、無事に家でできる限りの治療が開始されたよう。その間にも土曜日に訪問するスタッフからたくさんの訪問開始終了の安否連絡が来る・・・といったふうに、訪問看

護ステーションは 24 時間 365 日の動きがあります。
担い手のスタッフに感謝。

2021 年 8 月 13 日（金）

11 月にある日本産業精神保健学会。テーマは、新型コロナ時代の健康と労働～産業メンタルヘルスにかかわる課題とその解決を求めて～。シンポジウムで、「コロナ禍で管理者の立場からスタッフの対応に苦慮した点をおまとめください」という依頼が来ていて、今日は座長はじめ参加者のリモート打ち合わせでした。振り返る機会と思って頑張ります。

2021 年 8 月 12 日（木）

再び保健所からの依頼。

実際に対応してみてもの課題を整理できたので、それをまとめて保健所に投げかけたいと思います。

2021 年 8 月 9 日（月）

在宅療養中のコロナ陽性者支援依頼が保健所からありました。

地域の陽性者数は第 4 波より多いものの、依頼は少ない状況。

通常の訪問を定期的には担わない管理職が担当しており、

ガイドラインを守って訪問。それで感染した事例はこれまで全くなし。

油断なく対応していきます。

2021 年 8 月 6 日（金）

外は溶けるくらい暑い。異常気象いつまで続くのか・・・

こんな日の真っ昼間に、外に出て日がな一日活動するって・・・。

第 5 波の対応について、保健所と訪問看護 ST で会議があり、共有。

今回より ICT が導入予定となっており、より連携しやすくなりそう。

第 4 波の時に「アナログは限界。ICT 化絶対進めてください」と要望してよかった！！

2021 年 8 月 5 日（木）

10 月に研修に来られる、兵庫県看護協会認知症看護認定看護師課程の打ち合わせをリモートで。在宅療養を訪問看護で垣間見られたら、皆が病院での認知症看護について再考の機会になったと帰られます。それだけでも実習していただく意義があるかなと思っています。毎年来られる認定看護師課程の方々には、専門分野のレクチャーをしていただいたり、相談に乗っていただいたりもしていますので、まさに WINWIN かと。

2021 年 8 月 4 日（水）

当センターでは、口から食べることをずっと続けることを目指していて、栄養評価や口腔ケアを

しっかりできるよう、アセスメントや連携をしています。

今日は、口腔ケアの実技を当センターのベテラン T 主任が実践、若手や新入職員に伝える機会を持ち、それを動画で配信する予定です。

2021年8月3日（火）

新卒入職後4か月間の振り返りの時間をとりました。

卒後4年目のプリセプターがしっかりと自分の経験を生かしながら、新卒に的確な支援をしている様子がわかります。積み重ねてきたことを、うち独自の視点で可視化して新卒育成の次につなげていく計画も。頼もしい～

2021年7月29日（木）

ポジティブ事例検討会をやりました。看取りのパンフレットをどのタイミングで渡すか、についても話し合えました。ファシリした私も勉強になりました。以下、スタッフの感想です。

カンファレンス、もっと話していたいくらい楽しかったです😊ご参加ありがとうございました！振り返りしながら改めて感じたこと追記させて下さい。

- ご家族が看取りのパンフレットを教科書的に使って自分の中に落とし込みが出来たこと
→看取りのパンフレットは早めに渡しておいて良かった。
- 看取りの場の方向性で家族が悩んでいた時に主任が入って下さって方向性が決まった(その後家族はぶれなかった)
→自分だけで抱え込まず、適切なタイミングで他のスタッフや上司に応援を仰ぐことも大切。と思いました

2021年7月28日（木）

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会でブロック理事をになっておられた A さん。この前の総会で、「機能強化にしていくのに、悩みがいっぱいあって、どうしたらいいのか、相談させてほしい」と。

今日、電話で話をしました。お役に立てたようで良かったです。メールを載せておきます。

昨日は、お忙しい中お時間頂きありがとうございました。

機能強化ステーション運営のための人材育成に注力する必要性、スキルアップしやすい環境づくりの大切さを再認識させていただきました。

こんなに楽しい訪問看護！沢山のスタッフと思いを共有出来る職場運営を目指していきたいと思えます。ありがとうございました！

2021年7月27日（火）

7年務めてくれたスタッフが、健康上の理由で退職。

コロナ禍で何もできないけど、デザートのお持ち帰りとか、色紙などみんながいろいろと心配り

してくれ、ステキな送別会でした。

彼女からのメッセージを載せておきます。

皆さま、本当にありがとうございました。皆さまに温かく迎えていただいて7年間。山崎課長の訪問看護魂に魅了され、スタッフ皆さまの覚悟と情熱に背中を押してもらい、事務の皆さまには完璧なフォローをしてもらいながら充実した毎日でした。お忙しい中、色紙やおいしいプリン、お花などご準備していただき一生の宝物です。この時期にこのような形で去ることとなり、申し訳ありません。どうぞよろしく願います 🙏 これからもお体に気をつけて下さいね。本当にありがとうございました 🍀

2021年7月23日（金）

世間はオリンピックで盛り上がっています。

訪問看護は22日23日はスタッフ皆が訪問看護のための出勤してくれています。第1波から常に感染対策に気を配りつつ、自分が媒介しないさせない、を胸に頑張っています。

が、感染拡大はますます広がり、おそらくお盆あたりでまたまた第4波の時のように、在宅療養者が増加して、対応依頼が増えるのでしょう。

療養施設増やしてくれれば、計画的な支援に入れるのになあ・・・

2021年7月21日（水）

午前中は、兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の管理者育成委員会（リモート）。その間にもサテライト事業所スタッフの介護休暇に関する相談などが入ってきます。午後からは県看護協会の訪問看護総合支援センターと兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の合同会議。これは看護協会です。今回は看護協会会長さんも参加くださり、抱えていた課題の解決の見通しが立ちました。

というわけで、幹部会議は18時前までもヒートアップ。やはり協会会長さんともなると情報量が違いますね。

2021年7月17日（土）

リモートで、鳥取県訪問看護ステーション連絡協議会主催の研修。

今回は、コロナ対応に関する話をしてほしいとの依頼でした。

60名もの参加者があって、たくさんの質問も。

地域での対応を話し合う時には、ZOOMのブレイクアウトルームで、あちこちにお邪魔しながら、質問を直接受けたり、意見をお伝えしたりもできました。今後うちでやるリモート研修の参考にさせてもらおう。

2021年7月15日（木）

電子カルテを見て、気になったことを二人の副所長と共有し、短時間でディスカッションするようにしています。スタッフと直接、看護を組み立ててる副所長からは、客観的な目線で自分たちが気づけないところを明らかにしてくれるので、自分にもチームにも良い効果があると言います。ほんとは直接スタッフとやり取りしたり、訪問したりしながら相談に乗ってもいいかな〜と思うのですが、今のところはそれぞれのチームリーダーである副所長にゆだねつつ、ここぞと思う時は直接かかわるようにしています。

2021年7月14日（水）

常勤スタッフが集合し、顔合わせと当センターの今年度方針を共有しました。

コロナ禍で集合研修を控えており、4拠点のスタッフが直接顔合わせする機会が減っています。そこで、一度集まって方向性の共有もしておこうということに。話を聞いての気づきなども簡単に書いてもらいましたので、これも参考にしつつ、今後の戦略を立てようと思います。

2021年7月10日（土）

今日は兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の総会。コロナ禍で理事が集まり委任状での決議。とはいえ、多職種が集まる機会、なかなかないので、会長さんの計らいで、1人ずつ、コロナ禍での各職種の動きやステーションとの連携などについて話が聞け、とても貴重な時間になりました。

総会後の研修は、人材育成のリモート研修をケアプロの教育担当長さんに。

当日までの打ち合わせはメールやリモート会議でしてきました。

テンポよくトライ&エラーを教えていただき、日頃の育成のあり方を振り返って、これで良かったとかここは変えようとか振り返る機会になり、皆さんからも好評。良かった。

2021年7月8日（水）

POO マスター養成講座での実践計画の一つに、「医療機関からの要請を受けて排便に関するレクチャーの機会を持つ」としていました。今回、POO マスターのグループからのお誘いで、医療機関へのアプローチを行う機会をいただき、今日はその打ち合わせをリモートで。とはいえ、コロナ禍で排泄に関心持ってもらえる医療機関スタッフはいるのか？ネスレさんが協賛・共催で、告知もされると。

2021年7月6日（火）

訪問看護ステーションの収入源は1件1件の訪問提供の積み重ねによって得られる介護保険や医療保険の保険収入と利用者さんからの負担割合に応じた額。未収になる場合の対応について繰り返し検討を事務方には依頼してあるけど動きなし。えーなにになに！・・・あかんあかん。お明らかに。

2021年7月5日（月）

レセプト(診療報酬の請求書類)は医療保険の分はとてアナログで、ペーパーでの提出です(介護保険は電子請求)。この時期に前月分のレセプト請求書類を確認します。今回の確認分から、福祉医療の制度が始まり、複数の対象者さんが出ています。これは、兵庫県だけが対応できていなかった医療費補助制度でした。神経難病や自立支援医療などの対象にはならない障害のある子供さんなどの訪問看護費用の補助が受けられます。周知されていくことで、これまでは自己負担額が高額になるから、とあきらめていた医療的ケアのあるベビーなどの利用が広がるというなと思っています。

2021年7月1日(木)

新卒3年目のスタッフ、リフレクションの機会を持ちました。

今はすでに独り立ちして24時間当番や緊急対応も担ってくれるようになっていきます。また、彼女のパーソナリティから来る心地よさを利用者さん側が感じてくださって、ほっとする、という声もいただき、嬉しいことです。

さらに経験を重ねて、もっといろいろなことができるようになりたい彼女の後押しを、そっとできればと思っています。

2021年6月23日(水)

医療従事者のコロナワクチンの予約サイトでは予約が全くできず、県庁担当課に問い合わせ、近医での接種OKとの判断。

いつもお世話になっている先生に相談し、何とかスタッフの接種枠を確保していただきました。なんだかなーもう。みんな、訪問の合間合間に一生懸命、予約サイトにアクセスしては、落胆したり喜んだり。

県や行政からもっと早く状況の告知をしてほしい。私たち医療従事者、特に訪問看護師は感染対策が十分ではない中、利用者さんたちの命を守っています。

2021年6月22日(火)

新卒訪問看護師が今年も入職し、卒後4年目の元新卒スタッフTさんがプリセプターとしてしっかり関わっています。

今日は病院実習から戻った新卒看護師のOJTをどう進めていくか、チームの副所長とプリセプターと3人で協議、共有しました。

Tさんの話を聞いていると、新卒で入職して苦労してきたスタッフならではと感ずるような話がたくさんあり、ぜひそれを可視化して、うちの新卒育成に活かせるようにしていこうと。頼りになるスタッフに育ってくれてることが、嬉しいです。

2021年6月18日(金)

今日の午前中は、来週25日に行われる、都道府県訪問看護ステーション連絡協議会交流会のファシリテータの打ち合わせでした。これももちろんリモート。

主催は、全国訪問看護事業協会。例年は、事業協会の総会、研修会、都道府県訪問看護ステーション連絡協議会交流会、の流れでしたが、これもコロナ禍でリモート開催。

初めての試みなので、事務局の皆さまは大変だと思いますが、交流会は他府県の取り組みを知り、情報交換が直接できる貴重な機会です。よろしくお願いします。

2021年6月16日（水）

今日は久しぶりの訪問看護課全体研修会。とはいえ、リモート併用で。

当センターでは、JNA ラダーを活用しながら、看看連携推進と切れ目のない看護提供の実現を目指し、実践の質向上が可能となる教育の仕組みを作っています。

この仕組みと、JNA ラダーをもっと実践に活用してもらいたい、これを目的として研修をしました。

時々スタッフにつたえていくことで、効果的にラダー活用に取り組めると感じています。

今回も、みんなが書いてくれた感想には、ラダーがそうしたことにつながっていることに改めて気づけた、もっと活用していきたい、という声がたくさん上がっていて、嬉しかったです。

ちなみに、ラダーに関しては日本看護協会出版会の雑誌「コミュニティケア」2021年6月増刊号「クリニカルラダーを活用しよう」にも少し書かせてもらっています。

興味があったらご覧くださいね。

2021年6月12日（土）

訪問看護ステーションネットワーク西宮の総会。

私は顧問をさせていただいており、あいさつのミッションがありました。事務局のAさんに注文あったらどうぞと伝えていたら、

「ぜひ、県協議会や事業協会での役割をお話いただきながら、事業所の横のつながりを大切にする活動の意義をお伝えいただきたいです。やまさきさんだからお話いただけることだと思います❤️

ネットワークの新入会の方々が、ネットワーク活動の大切さを実感してほしいなー、と思いまして💡」というメッセージが。原稿貼っておきます。

本日は訪問看護ステーションネットワーク 総会の開催おめでとうございます。

顧問で西宮市訪問看護センター管理者のやまさきです。

コロナ禍での訪問看護ステーションの動きは、まさに災害時対応だったと感じています。

皆さま本当にお疲れ様です。第5波への準備は大丈夫でしょうか。

さて、このネットワークは、皆さまご存じかも知れませんが、今から約20年前の2002年（平成14年）に立ち上がっています。私は2008年（平成20年）から4年間会長を、その後、2018年（平成30年）3月まで事務局をさせていただきました。

今日は10年のあゆみを振り返って、ネットワークでの活動を考える機会にさせていただけるといいなと思っています。

10年間の活動で大切にしてきたのは、訪問看護が多くの人に広く知られ、その能力をいかに高く発揮できる地域づくりをこのネットワーク西宮で実現したい、ということだったのかなと、振り返ってみて感じています。長年顧問をしていただいた菊池英彰先生には、「自浄作用を持つ組織になっていきなさい」とご指導ご支援をいただきました。4つの取り組みについてお伝えします。

1つは、自治体が招集する様々な協議に訪問看護師の立場でテーブルについて自治体の政策決定に絡むことです。在宅療養や看取りが増えるからこそ、訪問看護だから気づく視点を自治体の政策に生かすべきだと思いました。当時行政は、「この会議は医師が、病院看護師が、ケアマネが入っているの」と散々言われ倒しまして、そのたびに、お時間くださいと行って、役所に行ってぶ厚い資料を渡して訪問看護ができることや視点を伝えました。また、医師会の先生にもお願いに行きました。今では日本じゅうの様々な自治体の会議体に訪問看護師が出るのは当たり前前の時代になりました。

2つ目は、自治体の地域防災計画に訪問看護ステーションの役割が明示されることを目指し、自治体と協働して訪問看護ステーションの災害時マニュアルのワークショップに取り組んだことです。その経過の中で地域防災計画に明記されるというより、災害時も通常業務を継続できるステーションが増えることが、利用者にとって安心なのだと気づきました。看護協会出版会の訪問看護ステーションの災害対策第2版にこの取り組みが紹介されています。

3つ目は訪問看護師と考える、というタイトルにこだわりのつまった「看取りのシンポジウム」や市民祭りに関連した、市民への訪問看護の啓発で、今やネットワーク西宮の看板事業、定番に成長させてくださってます。

4つ目は、圏域ごとでステーションが協働してネットワーク活動をするにより、いざという時に助け合える関係を創りあげ、最初に申し上げた「自浄作用を持つ組織」づくりで地域の訪問看護の質を高めることです。

今私は、全国訪問看護事業協会や兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会で、看護師確保定着、質向上、暴力対策など、訪問看護のさらなる発展に向け活動していますが、今日お伝えしたように、このネットワーク西宮で管理者の皆さんと、時に厳しく、時に楽しく、同じ目標に向かってともに歩んだ10年間は、訪問看護推にかかわり続ける私の原点だし、宝物です。

まさかのコロナ禍や、制度の締め付けが意外に続く中、ネットワークで頑張っておられる皆様にとって、10年後20年後に、このネットワークがそうした宝物になりますように、心から皆様のご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

2021年6月10日（木）

日本看護協会出版会より、今後の企画検討のための打ち合わせを、ということで予定していたり

モート会議。コロナ対応やら何やらで延期していましたが、今日ようやく実施。
頭の中で考えていることを相手に伝えるように文章化して、表出する。こんな機会をただけて貴重でした。

アウトプット、やっぱり大事。インプットのほうが多くなっててよくなかったんだな。

2021年6月9日（水）

コロナ禍で2月にあった2020年度の健康診断。

そして、2021年度のそれがまた今日。4か月しかたっていないけど・・・。

ちょっとだけ体重減ったけどまだまだだ（笑）こんなストレスフルな状況でも痩せない。更年期って痩せない。（らしい）

2021年6月7日（月）

7月にある兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の総会後の研修をお願いしている、ケアプロの教育担当専任Oさんと打ち合わせ。

県内各地域のブロック理事さんたちからの、「人材育成に関して話を聞きたい」との要望で、新卒訪問看護師育成に関する情報共有や交換を目的として、ある大学の先生につなげてもらったのがOさんでした。多分忙しい中でのお願いでしたが、快く引き受けてくださって、お互いに研修の具体的なイメージもつきました。当日楽しみ～

2021年6月4日（金）

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会と神戸市立看護大学の先生方で、第1波の時から現場アンケートや研修企画など、一緒にやっています。

今回、引き続き現場の管理者等へのアンケートを実施され、その結果概要を知らせていただき驚愕・・・

管理者の3割がコロナ禍で危険なほどのストレスを抱えていることや、実際のコロナ対応をしていない管理者の方がその傾向が高い、ということがわかりました。

これを踏まえ、どういった研修を組み立てるのか、意見をだしています。

さらに、特に地域で動く中、医療職でない従事者の感染対策の理解促進が急務と感じています。

2021年6月1日（火）

市教委の担当者の方が、今後の支援の打ち合わせのため、お越しく下さいました。

支援に入っている子供さんのことのみならず、今後の医療的ケアを必要とする子供さんの支援に関してや、ICTを使った連携のこと、訪問看護の意義や地域で果たしたい役割のことなど、いろいろなことをお伝えもでき、質問もたくさんいただき、良い時間でした。

熱心に担当して下さり、子供さんたち、親御さんたちも、心強く感じておられるのではと思います。

2021年5月26日(木)

兵庫県看護協会訪問看護総合支援センターと兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の合同会議、そして幹部会。

協会内で集まって話し合いました。県の組織を動かしていくこと、実際にやっていくのは本当に大変なことです。事務局の方々や幹部の皆さん、各圏域ブロック理事のみなさんと助け合いつつ、

少しずつ、現場の要望や疑問に対応することが可能になっています。ここでもICTツールが本当に役立っています。

2021年5月24日(月)

老健施設のヘルプに入りました。

これまでヘルプに入ったスタッフや管理職は、同じようなところが気になっていました。訪問看護事業の管理職で、具体的にどう支援すれば役立つのか、話し合いもできました。

2021年5月21日(金)

兵庫県の暴力対策検討会議をリモートで。

10月の研修に向けた協議を進めました。兵庫県はいち早く訪問看護、訪問介護員の暴力対策に取り組み始めましたが、有識者の教授によれば、発信が少ないと。

そこは県の担当者さんにも頑張ってもらいたいところです。10月の研修ではこれまでのあゆみを整理して発信する役割が課せられました・・・

振り返り期の機会だと思って頑張ります・・・

2021年5月19日(水)

午前中は元気で出勤。午後から言いようのない倦怠感と微熱・・・

どうにかこうにか帰宅して、そのあとから朝までずっと寝ていたので、これを書いたのは20日の朝。

いやー。副反応おそろべし。コロナに感染したのか??と不安になるほどのしんどさでした。

スタッフが受ける時期になった時の調整を考えていたけど、希望時期に予約は取れないことが分かったので、どうするか考えないと。

2021年5月18日(火)

午後から2回目のワクチン。副反応が恐ろしい・・・

2021年5月14日(金)

昨日は午後から、兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の理事会がリモートでありました。

県の医師会理事で西宮でもお世話になっているM先生も理事でご出席。コロナ対応の現状と医療従事者枠でもコロナワクチンの予約困難な状況を伝えました。

こうして現状をタイムリーに伝えて、対応につなげられる可能性を増やすことも大切と思っております。

2021年5月13日（木）

法人内の老人保健施設でもコロナ陽性となる方が出ています。そこへの支援に入る必要も出ていて、訪問看護の管理職は、保健所からの依頼による在宅療養者の対応、介護支援スキームでの在宅療養者対応、老人保健施設へのヘルプ要請に対応できるよう、体制を整えました。スタッフが通常業務を頑張ってお守ってくれています。利用者さんもセルフケアを頑張っておくださっています。

これはまさに、災害時対応の様相で、本当はさらに多くのサービス提供機関が在宅療養者支援ができればいいのになと思う一方、小規模なところで対応することのリスクヘッジが取れる状況でもないと感じています。

2021年5月7日（金）

GW中も、管理職はコロナ陽性者対応やサテライト事業所の対応に追われていた一方で、スタッフ1人1人が、通常の訪問看護ステーション業務をしっかりと果たしてくれて、ステーションを守ってくれました。感謝。深謝。

2021年5月6日（木）

5月1日から新入職の非常勤スタッフが来てくれました。

精神科看護の経験豊富なスタッフ。訪問看護は初めてということで、うちで使っている複数のICTツールもぼちぼち使いこなしていただきます。

がんばれ～

2021年5月5日（水）

連休中も毎日保健所から在宅療養中のコロナ陽性患者さんへの訪問依頼があり、ICTツールで情報共有して、相談しながら対応しています。

しかも明方3時に電話が入ったりもあって、こちらも驚くような状況です。たぶん保健所が忙しすぎるのと、伝達方法がアナログなので効果的にこっちからの申し送りが伝わっていないんだろうと……。ICTで情報共有できたらめっちゃ早くて確実！

2021年5月2日（日）

連休中も当番を決めて管理職2名が保健所委託業務に従事中。

容赦なくどんどん依頼あり、医師、酸素業者さんへの連絡など担いながら、当番の管理職が頑張っています。ICTツールがめっちゃくちゃ役だっています。入れておいてよかった。

2021年5月1日（土）

スタッフより申し出。ありがとう～感謝。

今後、業務上 N95 マスクを装着することがあれば、スタッフへの装着方法の指導などは出来るので協力出来ることがあれば言って下さい。(結核病棟勤務経験があります)

2021 年 4 月 30 日 (金)

先生からのお返事

- ・自分達が主治医なら山崎さんの言うのが適切やと思う。
- ・問題は主治医のいない人。保健所所長が医師として治療に当たるのが望ましいけど無理だから、医師会で手挙げ募り、輪番制で対応しているところ。
- ・ただ、前に集まって協議した医師、訪問看護、薬剤師のチームで対応するスキーム、このタイミングでもう一度話し合いが必要と思ってる

ということでした。そうか。主治医でない人をこのスキームで診療したからと言って、主治医になるわけではない、と言うのを再認識。制度って難しい・・・

PM～訪問看護事業協会主催の暴力対策研修会の収録に、研修委員として立会い。

2021 年 4 月 29 日 (木)

コロナで連携する先生に投げかけ。

先生、悪くなってからの対応ではなくて、悪くなる事予測して前もっての準備しとく、がコロナの自宅療養者対応に必要でないですか？酸素とステロイドの点滴か内服と解熱剤とかをセットで自宅療養者の所に置いて、看護師が主治医に報告して使用開始すれば、重症化を遅らせるのではないのでしょうか？今の医師会と訪問看護ステーションの協力体制有れば、できるのではないかと思います、ダメでしょうか。

2021 年 4 月 28 日 (水)

AM 所長会で確認

- ・ゴールデンウィーク中の電話当番と、待機当番を決めた。
- ・この事業はあくまで保健師の代わり。
- ・緊急当番の管理職が陽性者の対応しているときは、緊急時相談は各拠点の管理職へ
- ・ゴールデンウィークの緊急対応の体制をコミュニケーションツールで周知

2021 年 4 月 28 日 (水)

うちの訪問看護課のたよりに書きました。いま西宮はこんな感じです。

自宅療養が療養場所に加わった兵庫県。新型コロナ、西宮市での対応

コロナ陽性者はこれまで原則入院でしたが、4月28日時点で「自宅でも積極的な治療」にシフトしています。酸素導入とステロイド投与が中心で、状態安定すれば入院不要となります。ホテル療養は重症者治療をしており、明らかに治療場所が病院から地域へとシフトしています。

年末に西宮市に在宅療養者の支援スキーム構築のために、自治体と保健所、医師会、ヘルパー協議会などと協議の場を設ける旨要望し、年明けから調整を繰り返しました。医師会はいち早く協力体制を要請受けて作っておられました。訪問看護は手上げた事業所が保健所の委託で訪問する形です。

当センターでは陽性者対応を、私が窓口となり、管理職6人で行っています。ここ2週間は土日含め依頼や相談が続いています。

どれも「急激に状態悪化、酸素導入の支援、悪化のため往診同行」など、いずれも緊急訪問の様相ですが、何とか対応しています。

「西宮はすごい、他市ではまだ実現していない」と、陽性者の健康観察を朝から夜まで担っている看護協会の看護師が教えてくれました。これは医師会の先生方がいち早く保健所と連携されてたのが、ほんとに大きいと感じています。

保健所が混乱しており、土日も依頼から数時間たっても詳細情報が来ないことが続きました。そこで、保健師が健康相談を受けている部分をまるっと担当し、急変対応も医師と相談して対応できることを保健所に相談しました。

この時すでに新規感染者が40~70名/日、入院は1人~5人/日、自宅待機者200人で、いつ来るか分からない依頼を、通常業務をしながら対応するには、健康観察を担う人数を決めて訪問看護で対応を任せてもらう方が良いと考えましたが、それは難しいとの回答でした…。

医師会の先生とこんな話をしました。「悪くなってからの対応ではなくて癌末期の人の麻薬みたいな感じで、悪くなる事予測して前もっての準備、例えば酸素とステロイドの点滴か内服と解熱剤とかをセットで在宅療養者の所に置いて、看護師が主治医に報告して使用開始できないか、今の医師会と訪問看護ステーションの協力体制で可能では。保健所から状態悪くなってると呼ばれて対応するのは限界来る。通常の在宅療養者の対応みたいにできないか。元々主治医としてみている患者にはそれが可能だけど、そうでない場合が難しい。炎症性だとステロイドで悪化するが在宅では判断が困難…。前に一緒に協議した医師、訪問看護、薬剤師のチームで対応するスキームをこのタイミングでもう一度話し合う必要あるね」と先生方は考えてくれてます。ほんとに心強い。

コロナ禍での訪問看護の通常業務は、災害時対応と同じ様相です。私たちが行けなくなった時に、安定した状態の人が自宅で過ごせるためのセルフケアを、普段からどのくらい支援できているか。これが、通常の訪問看護機能を維持するための災害時対応の肝です。これからでも遅くありません。立ち止まらずやってみましょう。

たよりに書いたのはここまで。

連休が恐ろしい(笑)。

2021年4月27日(火)

AM コミュニティケアから、特集号のためのヒアリング

PM~保健所依頼に対応 そしてワクチン

2021年4月26日（月）

保健所依頼に対応

2021年4月25日（日）

今日も午後から陽性者対応の依頼が保健所から。

子どもたち連れて公園に行ってきたけど、すぐ戻って出勤準備し、車を出す。

途中まで向かっていると再度保健所から電話で、入院でき訪問不要となった旨連絡あり。

これからずっとこんな感じが続くのか・・・。

2021年4月24日（土）

家で木をチョコチョコしたり、ゆっくりしていたら出勤当番の主任から電話があり、コロナ陽性者対応の依頼があった報告でした。2名で陽性者宅に訪問、夜までかかっています。

2021年4月23日（金）

本部で一日中、経営改善の会議。訪問看護としてのやりようできてきて結果も出してきたと思っているし、そこには並々ならない苦勞があったと思っています。依頼を断らない、24時間365日の対応、それを支えるための体制づくり。一緒にやってくれるスタッフに感謝。

2021年4月22日（木）

スタッフや家族、利用者さんなどに発熱があったとの連絡、対応が増えています。慣れてきましたが、気が抜けないですね。みんな不安なんだろうなと思いますので、私がしっかり対応できなければと思い、判断軸の資料といつも首っ引きでにらめっこです。

2021年4月21日（水）

追記：所長会で保健所からコロナ陽性者支援のスキーム説明に来てもらいました。

管理職からいろいろな質問をだしてくれ、頼もしかったです。

2021年4月21日（水）

所長会、チャットツール業者さんとの打ち合わせ、そうしている間に今日もコロナ陽性者への対応依頼あり。細かなことについて保健所副所長に確認を入れました。

チャットツールをすごく活用して助かっています。訪問看護財団にPPE物品送付の申請するよう指示を出したり、感染対策の動画や資料を共有したり、相談事を投稿したり。全部をメンバーで共有できるので、情報格差が減り仕事が進めやすくなっています。

2021年4月20日（火）

コロナ陽性者への対応依頼が複数あり。管理職に業務を整理しておくよう指示しました。

保健所委託業務は、保健所職員の代わりに家庭訪問し自宅療養者への対応をするもの、介護支援

スキームは介護事業所撤退により支援が必要になった人。当センターは管理職だけが対応できるように役割分担をして、対応する予定です。

2021年4月19日（月）

事業報告書を本部に提出、午前は法人の管理職会議、午後から教育委員会の担当者と電話で打ち合わせ。合間合間に保健所からコロナ陽性者対応体制に関する連絡や、スタッフの家族が濃厚接触のためお休みして検査受けるなどの報告が入る。気が抜けない。

2021年4月16日（金）

チャットツールのトライアルが今日まで。とはいえ、使い勝手や目的を達成できそうか、対価は、など考えると、なかなか決められません・・・

営業さんAさんに相談したら、延期してくれました。ありがたい～

2021年4月15日（木）

精神科訪問看護は、精神科での経験もしくは研修受講が必須となっています。

また当センターでは、新入職スタッフには訪問看護Eラーニングを必ず受けてもらっています。今年の精神科訪問看護実習の受講者が決まりました。当センターの理念を実現するため（住み慣れた場所で最期まで過ごせる地域づくり）、日々コツコツと。

2021年4月14日（水）

インターンシップに現役看護師が来てくれました。仲間になってくれるといいなあ。

午後からは訪問看護課研修で、ラダーについてしゃべりました。参加できないスタッフ用に録画までされていました。

保健所依頼のコロナ陽性者対応に従事する看護管理職のワクチン接種について、保健所との調整ができました。接種はまだ先ですが、とりあえず良かった。

2021年4月13日（火）

AMは県訪問看護推進会議で作成中の、新卒訪問看護師育成に関する指導ガイドライン（的なもの）の原案を、大学の先生に意見をもらいながら整えつつあります。

午後からは、県立看護大学の実習打ち合わせに2名の先生がお越しになりました。

コロナ禍でも学生実習は受け入れているものの、地域での流行時は、現場に同伴訪問することはリスク管理の上でしていませんでした。学校側と学生さん自身がリスク管理がじゅうぶんでしていると判断すれば、地域での流行がなければ、利用者さんの同意のうえで同伴はありと思っています。学習の機会を奪わないようにしないと、卒後に影響があると思うので、できるだけこのことは調整したいと思っています。

2021年4月12日（月）

医療従事者の優先接種予約が19日月曜から始まります。チャットツールの連絡ノートに方法

を掲載しました。

また、副反応がかなり出るようなので、訪問に支障が出ないよう、誰が何曜日に予約するというような予定表も、各拠点の管理職が作りしました。予約うまく取れるといいなあ。

2021年4月10日（土）

お休みの日ですが、法人の事務局よりコロナ陽性者対応のことで相談の電話。

そのあとで、サテライトのスタッフから悩みごとのメッセージがあって、やり取り。

整理できたようで良かった～。

2021年4月9日（金）

この拠点の管理職の一人がダウン。忙しかったから疲れとれていなかったのねと反省。

病院での退院カンファレンスに参加し、話が変わるほうに行きそうだったから、つい仕切ったけど、方向が定まり話も進んだ。よしとしてもらおう。

バイタルリンクのWEB会議が夜に。これから活用うまくやれたらいいなあ。

2021年4月8日（木）

朝から何かとバタバタしてしまい、新卒 S さんのオリエンテーションだったのに、ちゃんと話できなかった。

チャットツール、2つくらいに絞れてきました。

2021年4月7日（水）

所長会。次世代の担い手2人、頼りになります。

今チャットツールの導入を検討していて、色々見たり、営業さんと話していますが、なんであんなに値段が違うんだろう。顧客側から見ると、昨日の違いはそれほど判らない。

2021年4月2日（金）

新卒看護師が入職。本部でのオリエンテーションを終え、今日から配属になりました。

フレッシュな雰囲気がいいなあ。

今日は超忙しい。県のコロナ支援スキーム確認の問い合わせで、保健所と打ち合わせに入って、県ステーション協議会のことでもう一人の副会長と打ち合わせして、医師会の先生とコロナ対応のことでやり取りして、大学の先生と ST 協議会でのコロナ関連アンケートの件で打ち合わせして。

2021年4月1日（木）

新年度！新たに既卒の看護師が入職となりました。

にしても、今週長い・・・